

#### 第四回労働調査報告

### 昨年以來の言質

代議士横山勝太郎氏を會長とし、東京市の各日刊新聞社の新聞工を以て組織せる革進會の名の下に東京市に於ける主なる新聞拾六社の新聞工は一致同盟して、昨年八月一日、賃銀増加及び時間短縮に關する要求を提出し、新聞經營者側にて之を拒絶するに於て直に同盟罷業に依つて其の要求を貫徹せんとしたり。

此の要求要條を手受したる各新聞の經營者の腦裡に期せずして一致せる不安を喚起したり。如何となれば各新聞社は其の經營上平日商敵として對峙し來れる關係上、拾數社中には此の機に乗じて如何なる轉換策を講ぜんも圖り難しと思惟したればなり。未だ嘗つて組織的罷業に際會せることなく、報導の敏と無休刊を誇りとし、之を經營上の生命となす新聞經營者が、他社が工場罷業のためを休刊を餘儀され、讀者の眼前に其の不體裁を曝露するを、自社營業上の利益に計算せんとするは決して想像すべからざる事に在らず。而して經營者間に於ける此の不安と總同盟罷業的形式を取れる職工側の運動は寧ろ十六新聞經營者の聯盟を促進するに至れり。かくて立所に新聞聯盟協會なるもの成立し同聯盟の協議の結果、大小新聞十六社は休刊を以て、新聞工總同盟の革進會に對抗したり。之れ革進會が